

# 土門

土門拳記念館コレクション展

肉眼を超え  
眼をたずね

# 拳

2022

9.10(土)→10.24(月)

開館時間 9:00—16:30(最終入館16:00)

休館日 毎週火曜日

観覧料 [一般] 1,100円(団体900円)

[大学生・高校生] 550円(団体350円) [中学生以下] 無料

■団体は20名以上 ■身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者手帳をお持ちの方、及びその付き添いの方1名は無料

主催 安来市加納美術館、BSS山陰放送、第22回共同巡回展実行委員会

共催 安来市教育委員会

特別協力 公益財団法人さかた文化財団 土門拳記念館

特別協賛 日本通運株式会社 北九州支店

後援 安来市、安来市文化協会、広瀬町文化協会、山陰中央新報社、

中国新聞社、新日本海新聞社、朝日新聞松江総局、

毎日新聞松江支局、読売新聞社松江支局、TSKさんいん中央テレビ、

やすぎとじょこテレビ、中海テレビ放送、エフエム山陰、DARAZ FM

助成 一般財団法人地域創造

文化庁「ARTS for the future! 2」補助対象事業(予定)



安来市加納美術館

YASUGI KANO MUSEUM of ART

〒692-0625 島根県安来市広瀬町布部345-27 TEL. 0854-56-0880

info@yasugi-kano-museum.com <https://www.art-kano.jp>

土門拳(若い看護婦)1938年土門拳記念館蔵

第7回安来平和のつどい関連事業

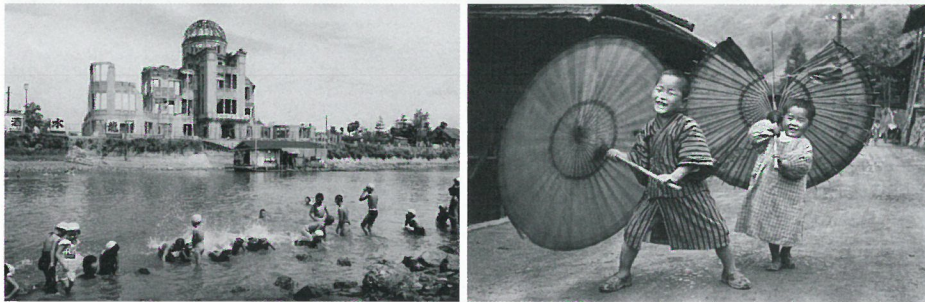
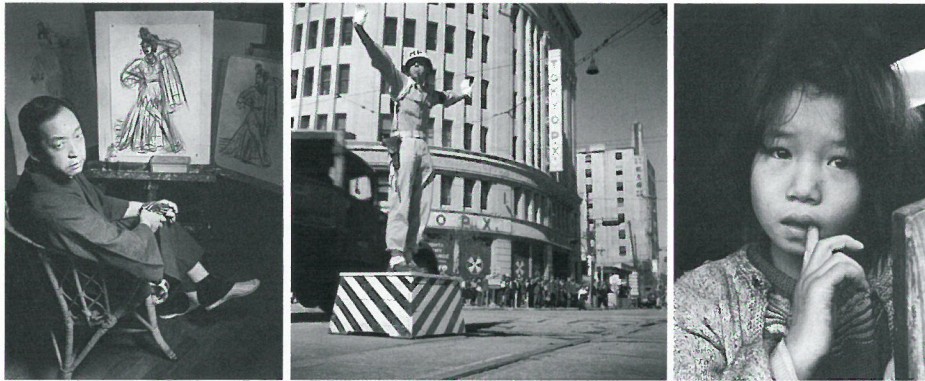
令和3・4年度市町村立美術館活性化事業

第22回共同巡回展

激動の昭和を独特のカメラアイで切り撮り、日本の写真界に大きな足跡を残した写真家・土門拳(1909-1990)。戦前、戦中、戦後、復興、高度経済成長と、日本社会全体が目まぐるしく変化していくなか、強烈な個性とこだわりを持ち、一貫してそこに生きる日本人や現実社会を撮り続けました。同時に古寺や仏像などを大型カメラで見据え、独特の美意識で、連続と続く日本人の心を追求しました。

発表された数多くの作品と土門拳の写真に対する考え方は、その時々社会に影響を与え、日本の写真文化の形成にも大きな役割を果たしてきました。

この度、土門拳記念館の協力のもと、日本の写真を牽引してきた土門拳を紹介する共同巡回展を開催します。当館では第7回安来市平和のつどいの関連事業として、『ヒロシマ』をはじめ『筑豊のこどもたち』やライフワークである『古寺巡礼』、『風貌』、戦前から戦中・戦後の日本の姿をとらえた貴重な作品群など土門の代表作約110点を展示します。



### 土門拳記念館学芸員・田中耕太郎氏による講演会

展覧会特別協力の土門拳記念館からゲストを招き、土門拳についてお話しいたします。

講師——田中耕太郎氏(土門拳記念館学芸員)

日時——9.10(日) 13:30-

場所——布部交流センター(当館隣)

定員——50名(要予約) 参加費——無料

### 写真家・藤森武氏による講演会

本展アドバイザーである藤森武氏は、土門拳の内弟子でもありました。また、安来市出身の紙塑人形作家青戸慧氏の作品集の撮影カメラマンでもあります。人間土門拳また、安来の話も伺います。

講師——藤森武氏

(本展アドバイザー、土門拳記念館学芸担当理事)

日時——9.11(日) 13:30-

場所——布部交流センター(当館隣)

定員——50名(要予約) 参加費——無料

### [対話型鑑賞会] アートdeトーク

鑑賞者同士で作品について、何が映っているのか、作家の意図は何かをおしゃべりしながら発見していきます。

日時——9.25(日) ①10:30- ②13:00-

場所——当館 展示室

参加費——無料(入館料が必要です)

### [ワークショップ] 布部を写そう撮影会

美術館のある布部は自然や歴史の豊かなところです。地域のいいところを写す撮影会。

日時——10.1(日) 10:00-(10:00までにお集まりください)

講師——市川修平氏(尼子写真クラブ主宰)

定員——10名(要予約) 参加費——1,000円

### 横浜美術館学芸員・大澤紗蓉子氏による講演会

本展覧会カタログの総論執筆者である大澤紗蓉子氏をお招きします。

講師——大澤紗蓉子氏(横浜美術館学芸員)

日時——10.16(日) 13:30-

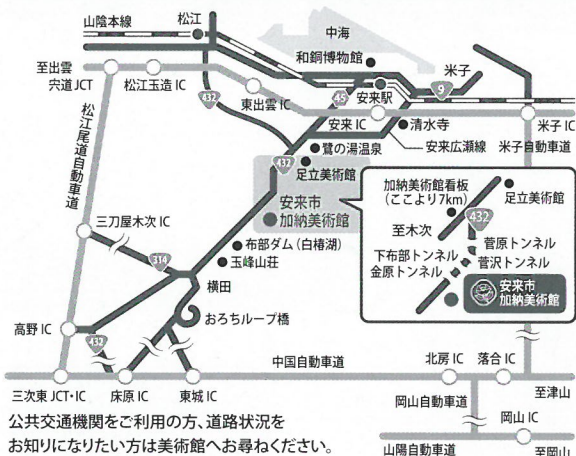
場所——布部交流センター(当館隣)

定員——50名(要予約) 参加費——無料

イベントの申込・予約は電話でお願いします。

1. 『梅原龍三郎』1941年
  2. 『銀座4丁目交差点』1946年
  3. 『るみえちゃん』(『筑豊のこどもたち』表紙) 1959年
  4. 『原爆ドームと元安川』1957年
  5. 『傘を回すことも 小河内村』1935年頃
  6. 『平等院鳳凰堂夕焼け』1961年
  7. 『平等院鳳凰堂の大棟鳳凰を撮影中の土門拳』1964年
- [撮影] 土門拳(7を除く) すべて土門拳記念館蔵

1	2	3
4	5	
6	7	



同時開催

常設展 今伝えたい、  
加納莞蕾の想い



安来市加納美術館  
YASUGI KANO MUSEUM of ART



〒692-0625 鳥根県安来市広瀬町布部345-27 TEL. 0854-36-0880  
info@yasugi-kano-museum.com https://www.art-kano.jp

レストラン  
やまさや

を併設しています。  
定休日—毎週火曜日

感染症予防のため、入館時にはマスク着用、検温等にご協力をいただきますようお願いいたします。また、人数制限を行う場合があります。詳しくは美術館までお問合せください。

入館割引券 100円引  
本展(観)無料  
他の割引特典とは併用不可